

Racing Development
TRD

Rally challenge 2014



九州で初開催となるTRDラリーチャレンジ。 激戦のシリーズポイント争いの行方は!?

Rally Data

TRDラリーチャレンジ2014 Round 5 in 唐津

主催	グラベルモータースポーツクラブ (GRAVEL)
開催日	2014年9月7日 (日)
開催エリア	佐賀県内
セレモニアル スタート会場	ニタ子3丁目倉庫 東港臨時駐車場
サービスパーク	ニタ子3丁目倉庫 東港臨時駐車場
ゴール会場	ニタ子3丁目倉庫 東港臨時駐車場
セクション数	2
SS本数	5
SSトータル距離	20 km
総走行距離	約92km
参加台数	36台 C-1 3台 E-1 4台 C-2 9台 E-2 8台 C-3 6台 E-3 6台
出走台数	36台
完走台数	35台 (リタイヤ1台)
取材媒体	(有)スポーツテクニカ J-SPORTS (テレビ) 合同会社サンク ブレイドライブ (一般誌) GAZOO RACING (ウェブサイト) Rally Stream (ウェブサイト) NHK 佐賀 (テレビ) JAF JAFスポーツ (一般誌) Car&レジャー 週刊 Car&レジャー (一般誌) 佐賀新聞 (新聞) 毎日新聞 (新聞) 読売新聞 (新聞) 唐津ケーブルテレビジョン びーぶる放送 (テレビ)

風光明媚な唐津を舞台に 繰り広げられる激しいデッドヒート!

9月7日、佐賀県唐津市を舞台として、TRDラリーチャレンジRd.5 in 唐津が行われた。九州初開催となる本戦は、Rd.3徳島戦と同様に地区選への編入で実現した。会場となる唐津東港では、前日から「DRIVING KIDS with TOYOTA」が開催され、時折雨が降る天候ながら多くの観客が訪れていた。



唐津東港横に設置された特設会場からスタートを切った各車は、ロングステージのイキサSSに挑戦することとなる。

スタミナと経験が勝負の鍵を握るこのロングSSで、10秒以上もの差を広げてゴールしたのはE2クラスの山口・坂田組。シリーズポイントトップの中村・安藤組に追いつくためには落とせない一戦ということもあり、気迫の走りを見せた。またC3クラスの角谷・秋田組も山口組に続く好タイムを記録し、E2クラス上位に割って入る走りを見せた。

続くカガミSSは2.22kmのショートSS。鏡山山頂から唐津の美しい海岸線を見下ろせる素晴らしいロケーションを楽しんだ。



午後のセクション2は、ギャラリーステージとなるシーサイドSSからのスタート。晴天に恵まれたこともあり、多くのギャラリーが特設コース横に駆けつけ声援を送った。

E3クラスの池田・川島組は、唐津ラウンドに向けて急遽ZZTセリカのラリーカーを製作。このシーサイドSSで全体トップタイムを記録する迫力の走りを見せ、ギャラリーから大きな歓声を浴びた。

続くSS4・SS5は再びイキサ〜カガミのSS。ロングコースのイキサで各車大幅なタイムアップを見せるが、トップの山口組は更に15秒近くタイムアップし他を寄せつけない。そのままトップでフィニッシュし、有言実行の総合優勝を果たした。また、小倉・高田組がシリーズチャンピオン争いを繰り広げる安藤組・山口組の間に割って入る好走を見せ、チャンピオン争いを更に盛り上げることとなった。

C2クラスでは、二戦連続(徳島ラウンドは欠場)でクラス優勝を果たし波にのる松嵜・赤木組がSS4で30秒以上のタイムアップを見せ、見事優勝を掴んだ。

クラストップの戸塚・角田組が不在のうちにポイントを稼ぎたいE1クラス勢は、新堀・前川組が優勝。2位に藤田・黒田組が入る展開となり、シリーズポイントはほぼ横並びとなった。残り二戦に注目が集まる。C1クラスで全戦優勝中の栗村・新井組は本戦も見事優勝。シリーズチャンピオンに大手をかけた。

次戦はRd.6富山ラウンド。まだまだ分からないチャンピオン争いの行方から目が離せない。



SS コースレイアウト

Section 1

SS1	ターマック A	7.730 km
SS2	ターマック B	2.220 km

Section 2

SS3	ターマック C	0.330 km
SS4	ターマック A	7.730 km
SS5	ターマック B	2.220 km





class C-1
ヴィッツ 1000cc 限定



class C-2
ヴィッツ 1500cc 限定



class C-3
トヨタ 86 限定



class E-1
ヴィッツ 1500cc 限定



class E-2
トヨタ 86 限定



class E-3
トヨタ車限定とし、気筒容積区分無し

次回、第6戦は10月5日(日) 富山県内にて開催予定です。